

【#気候変動メディアシンポジウム2026】豪華登壇者を発表！
NHK、新聞社、国際機関、気候科学者、広告代理店など
「気候変動×メディア」のパイオニアたちが4月16日@国連大学に集結！
気候変動やエネルギー問題といった社会危機を前に、求められるメディアの役割、
メディアの在り方、メディアを取り巻く環境の大改革に向けて議論します！

一般社団法人Media is Hope



2026年4月16日(木)に「気候変動メディアシンポジウム2026 @国連大学」を一般社団法人Media is Hope主催、国連広報センター後援にて開催します。気候変動解決できる社会構築に向け、メディア関係者を中心に、広告代理店や専門家たちが各テーマごとに深掘りしたディスカッションを展開します。

特に今回は、気候変動やエネルギー問題といった社会危機を前に、課題解決型のメディアの在り方、AI台頭時代のメディアの役割、ステークホルダーである視聴者やスポンサーとの新たな関係づくりについて議論します。今年は先進事例を讃える「Media is Hope AWARD」表彰式を同時開催いたします。

開催概要

- 日時：2026年4月16日(木) 13:00~16:00 (懇親会 16:00~17:00) ※現地対面での開催
- 場所：国際連合大学 2F Reception Hall (住所：東京都渋谷区神宮前 5-53-70)
- 主催：一般社団法人Media is Hope ■ 後援：国連広報センター
- 対象：メディア関係者中心 (他、企業や専門家、気候変動関連組織など)
- 参加費：無料 ※先着100名 ■ 申込フォーム：<https://forms.gle/UHbYCzSSNodtyaHA7>



■タイムスケジュール（一部変更の可能性がございます）

13:00~13:10	開会挨拶（主催者：Media is Hpoke、後援団体：国連広報センター 根本 かおる所長）
13:10~14:00	<p>セッション① Media is Hope AWARD 2025 表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ/新聞/ラジオ/地方/SNS/漫画など多様な受賞者 ・ソリューションジャーナリズム等のメディアの先進的な取り組みを紹介 <p>●ファシリテーター：渡辺 倫咲葵（Media is Hope）</p>
14:05~14:55	<p>セッション② 気候変動とAI台頭時代のメディアの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアが社会の繋ぎ目として機能するファクトチェックの重要性 ・AI検索の裏側で見えなくなるメディアと、視聴者に選ばれるメディア <p>●マーク・ハーツガード氏（Covering Climate Now 創設者 ▶ビデオメッセージ）</p> <p>●松木喬氏（日刊工業新聞 編集委員 / Media is Hope AWARD 2023年間 個人賞）</p> <p>●旗智広太氏（NHK報道局・機動展開プロジェクト 記者 / ファクトチェック取材）</p> <p>●箱崎みどり氏（ニッポン放送アナウンサー / 番組『いま、地球がアツイ！』担当）</p> <p>●江守正多氏（気候科学者 / 東京大学未来ビジョン研究センター教授）</p> <p>●ファシリテーター：名取 由佳（Media is Hpoke）</p>
15:00~15:50	<p>セッション③ 生き残り戦略としての大改革！その時、メディアを取り巻く環境は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い社会づくりのためにメディアはどんな改革が必要か ・オーディエンスやスポンサーとの関係性、広告代理店やコンサルのネクストステージとは？ <p>●荒木丈志氏（株式会社電通グループ サステナビリティオフィス ディレクター）</p> <p>●磯貝友紀氏（合同会社EarthNest代表、サステナビリティ・ビジネス戦略家）</p> <p>●南麻理江氏（株式会社湯気 共同代表 編集者、元ハフポスト日本版／博報堂）</p> <p>●ファシリテーター：西田吉蔵（Media is Hpoke）</p>
15:50~16:00	閉会挨拶（終了後17:00頃まで、同会場にて懇親会）

■登壇者紹介：

<<セッション① Media is Hope AWARD 2025 表彰式>>

※AWARD受賞理由は別途プレスリリースをご覧ください（近日公開）

2025年 下半期・年間 受賞者一覧：

<2025年 下半期>

- 個人賞：WoWキツネザル氏
- 媒体賞：NHK報道局

<2025年 年間>

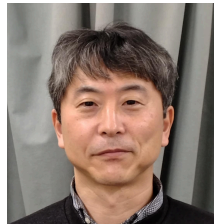
- 個人賞：日本経済新聞社 安藤淳氏
- 媒体賞：毎日新聞社、テレビ東京

- ソーシャルメディア賞：黒部睦氏
- 作品賞：「青の王国 BlueNation年代記」(しおだまりん氏)
- データビジュアライズ賞：「温暖化する地球を見下ろす 気候変動の15の陰影」(中日新聞社)
- シリーズ賞：「いま、地球がアツイ！」(ニッポン放送)、
「気候危機にメディアはどう向き合うべきか」(NHK放送文化研究所)
- 地域メディア賞：福岡放送
- ソリューション賞：読売新聞社

<<セッション② 気候変動とAI台頭時代のメディアの役割>>

松木喬氏 - 日刊工業新聞 編集委員

2009年から環境・CSR・エネルギー分野を取材。著書『SDGs経営 社会課題解決が企業を成長させる』など。日本環境協会理事、日本環境ジャーナリストの会副会長。Media is Hope主催「Media is Hope AWARD 2023」受賞(年間・個人)。アルビレックス新潟のサポーター



籾智広太氏 - NHK報道局・機動展開プロジェクト記者

1989年生まれ。慶應大卒業後、朝日新聞に入社。京都・熊本総局を経て、2016年にネットメディアBuzzFeed Japanに転職、ファクトチェック取材を始める。ニュースチーム解体に伴い退社後、23年にNHK入局。デジタル調査報道とフェイク対策を担当し、サタデーウォッチ9「デジボリ」に注力している。



箱崎みどり氏 - ニッポン放送アナウンサー

1986年、東京都生まれ。ニッポン放送アナウンサー。気象予報士。防災士。東京大学大学院 総合文化研究科(超域文化科学専攻) 修士課程修了。2011年、ニッポン放送入社。防災、気象災害の啓発などに携わり、2025年から『いま、地球がアツイ!』を担当。その他に、60周年を迎えた『ニッポン放送ショウアップナイター』スタジオ業務などを担当。



江守正多氏 - 気候科学者 / 東京大学未来ビジョン研究センター教授

国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長、地球システム領域 副領域長等を経て、2022年より現職。東京大学大学院 総合文化研究科で学生指導も行う。専門は気候科学。IPCC(気候変動に関する政府間パネル) 第5次および第6次評価報告書 主執筆者。



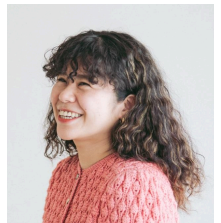
マーク・ハーツガード氏 - Covering Climate Now 創設者 ▶ビデオメッセージ

Covering Climate Nowは、Columbia Journalism ReviewとThe Nation magazine が、ガーディアン紙とWNYCの協力を得て共同設立した、世界50カ国500以上のメディアが参加する気候変動報道連携ネットワーク。ジャーナリストが気候危機と解決策について、より有益で魅力的な報道を作成できるよう支援している。日本ではNHKや朝日新聞などが参加し、2023年10月より一般社団法人Media is Hopeも公式パートナーとなっている。



[ファシリテーター] 名取由佳 - 一般社団法人Media is Hope 共同代表理事

大学卒業後、エンターテインメント企業に就職し5年間勤務。新人教育やVIP担当、イベント企画などを経て2019年に退職。2020年より気候変動の解決に向けた活動を始め、2021年にMedia is Hopeを立ち上げる。現在は気候変動解決のための新しい価値の創造やステークホルダーの連携・共創を支えている。



<<セッション③ 生き残り戦略としての大改革！その時、メディアを取り巻く環境は>>

磯貝友紀氏 - 合同会社EarthNest 代表

25年にわたりサステナビリティ・ビジネス戦略家、作家として活躍。世界銀行を経て、PwC Japan サステナビリティ統括パートナーとして、日本企業の経営層に対し脱炭素戦略やサステナビリティ投資を推進。その後、投資ファンドにおいてSXを通じた企業価値向上支援に加え、資本市場と「儲かるサステナビリティ・ビジネス」を結び付け、Good Growthに資金が流れる仕組みづくりを実践してきた。著書に『SXの時代』『必然としてのサーキュラー・ビジネス』他。



荒木丈志氏 - 株式会社電通グループ グループサステナビリティオフィス ディレクター

入社以来、パブリック領域の業務に従事。特に環境政策に精通し、脱炭素領域においては、中央省庁のみならず、民間企業への支援・連携案件にも数多く携わる。また、電通グループ自身や広告業界・マーケティングソリューションの脱炭素化に向けた「Decarbonization Initiative for Marketing」を立ち上げ、業界連携・横断での活動を積極的に推進中。



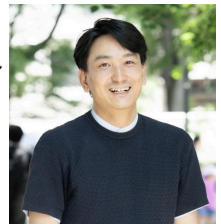
南麻理江氏 - 株式会社湯気 共同代表

博報堂でウェブ広告のセールス等に従事した後、2017年よりハフポスト日本版にてジェンダーや働き方、SDGsなどに関する記事や動画、イベントの企画を担当。2022年、株式会社「湯気」を設立。“世の中を変えるかもしれない「熱」を、なだらかに伝えていく”をコンセプトに、社会課題に向き合う企業や組織に並走する。



[ファシリテーター] 西田吉蔵 - 一般社団法人Media is Hope 共同代表理事

これまで大手化粧品メーカーのクリエイティブプロデューサー、外資製薬会社のコミュニケーションプランニング、経営目線のブランディングやプロジェクト推進の業務に携わる。それら企業活動推進してきた経験を活かし、気候変動の本質的な解決に向けて、大きなジャーニーを描く。未来志向な社会構築を目指し、関係各所と連携して新たな仕組みづくりに取り組む。



■ 主催：一般社団法人Media is Hope (<http://media-is-hope.org>)

気候変動を解決できる社会を実現するために、気候変動報道強化に繋がるさまざまなサポートを行う非営利型一般社団法人。「メディアをつくる側もえらぶ側もお互いに責任を持ち、公平で公正かつ自由なメディアと持続可能な社会の構築」をビジョンに掲げ、気候変動の本質的な解決を目指して、メディアや市民、企業やあらゆるステークホルダーが共創関係を築く架け橋となる。また、媒体や系列を超えたメディア連携プラットフォーム【気候メディアイニシアチブ】を運営している。

メディア関係者や国連などの国際機関、専門家や実践者、市民や若者と共に、気候変動解決に求められる報道の在り方を議論する【[気候変動メディアシンポジウム](#)】や、環境省後援【[みんなで作ろう！再エネの日！](#)】を主催するなど、気候変動の解決に向けてステークホルダーが繋がり共創する場を提供。

問い合わせ先：contact@media-is-hope.org

一般社団法人Media is Hope 共同代表 西田吉蔵／名取由佳 宛